

札幌市円山動物園×気候変動教育プロジェクト  
対話・学びの拠点としての動物園・水族館の可能性  
(ESD 推進ネットワーク北海道地域フォーラム)

札幌市円山動物園では、2019年に策定した基本方針「ビジョン2050」に基づき、環境教育を動物園の重要な役割と位置づけ、さまざまな取組を進めてきました。

その一環として、2023年度より北海道地方ESD活動支援センター（※）と連携し、気候変動をテーマとした学びの場づくりに取り組んでいます。3年間にわたる試行を通じて、生き物と直接向き合い、その生息地で起きている環境変化を知り、生き物を守ることの意味や人間の暮らしとのつながりを体感的に学べる場として、動物園が持つ力をあらためて確認することができました。本フォーラムでは、これまでの取組を皆さまに共有するとともに、学びの拠点としての動物園や水族館の可能性、そして多様な主体が協働することで生まれる新たな価値について、専門家や企業の方々とともに考えていきます。

※ 北海道地方ESD活動支援センターは、文部科学省・環境省が全国8ヶ所に設置した「持続可能な開発のための教育（ESD）の推進拠点」です。環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）内に設置されています。（☞ <https://epohok.jp/act/info/esd/center>）

## ■ 開催概要

[日時] 2026年3月22日（日）13:30～15:30

[対象] 気候変動、生物多様性保全、環境教育、動物園・水族館の取組に関心のある方

※道内外の環境教育・ESD関係者、動物園・水族館関係者へ広く発信

[定員] 対面：30名、オンライン：200名 ※要申込み、先着順

[会場] 札幌市円山動物園 キリン館2階 ※オンライン併用

[プログラム（予定）] 全体進行：久保田学（EPO北海道）

○ 挨拶・趣旨説明（5分）

○ 基調講演（30分）

「気候変動・生物多様性保全と動物園・水族館の可能性」

高橋 宏之さん（日本環境教育学会 副会長）

○ 話題提供（各15分）

1) 「円山動物園における対話・学びの取組」

佐竹 輝洋（札幌市円山動物園）

2) 「Web アプリを使用した動物園における気候変動教育」

安東 義乃さん (合同会社エゾリンク)

3) 「学び場としての動物園への期待」

佐々木 隆介さん (北海道コカ・コーラボトリング株式会社)

○ 登壇者意見交換・質疑応答 (40 分)

[申込] 下記 URL より申込 (締切: 3/18)

<https://forms.gle/EFseCj5FWCL69yoPA>

[主催] 札幌市円山動物園、北海道地方 ESD 活動支援センター (EPO 北海道)

[後援] 日本環境教育学会

[問合せ先] 札幌市円山動物園 (担当: 佐竹、工藤) TEL: 011-621-1426

北海道地方 ESD 活動支援センター (EPO 北海道) (担当: 久保田、瀬野)

TEL: 011-596-0921 E-mail: inf@hokkaido-esdcenter.jp